

お金のこと、  
本を読んで  
考えてみた。

Dec.2025 - Jan.2026

こんな本



読んでみて

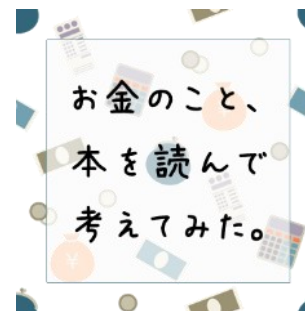
No.116

## 目次

お金のこと、本を読んで考えてみた。 1

Book design の世界 vol.46 10

ちょこちょこ日記 #56 12



7名の人気作家  
による  
短編小説集

## 『ここだけのお金の使い方』

Front



アミの会 編  
大崎梢 ほか 著

Back



Point

- ・自分に合う作品を探している方におすすめです。
- ・お金にまつわる7つの物語が読めます。
- ・宝くじが当たったら？ゲーム課金はいくらまで？この一冊で様々な角度からお金を見つめることができます。

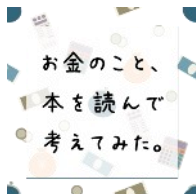
◇出版社／中央公論新社

◇出版年／2022年

◇ページ数／300p

◇サイズ／文庫判 15.1cm×10.5cm

◇請求記号／913.68||A 45



## 『月 収』

「月にいくら  
あったら幸せ？」

原田ひ香 著

Front



Back



Point

- ・それぞれの月収に見合う生活を送る6人の物語。
- ・欲しいもの、不要なもの、そして、お金では買えないもの…お金との付き合い方を考える一冊です。
- ・悩みと向き合う登場人物の姿に、きっと前向きな気持ちになれるはずです。

◇出 版 社／中央公論新社  
◇出 版 年／2025年  
◇ページ数／248p  
◇サ イ ズ／四六判 19.1cm×13.1cm  
◇請求記号／913.6||H 32

## 『三千円の使いかた』

原田ひ香 著

「人は三千円の  
使い方で  
人生が決まるよ」

Front



Back

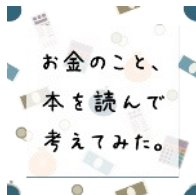


Point

- ・70代、50代、30代、20代の御厨家の3代にわたる女性たちの「節約」家族小説です。
- ・人生の節目と突然訪れるピンチを乗り越えるため、どんなお金の使い方を選択するのでしょうか。
- ・お金の使い方を見つめ直すきっかけになります。

◇出 版 社／中央公論新社  
◇出 版 年／2018年  
◇ページ数／300p  
◇サ イ ズ／四六判 19.1cm×13.1cm  
◇請求記号／913.6||H 32





## 『これは経費で落ちません！ 経理部の森若さん』

Front



Back



Point

- ・主人公の森若沙名子は天天コーポレーションに入社して以来、経理一筋。経理の仕事を通じて浮かび上がる人間模様を描くお仕事小説です。
- ・領収書の謎に迫るミステリー要素もあります。
- ・経理の仕事のリアルに触れられる作品です。

◇出版社／集英社  
◇出版年／2016年  
◇ページ数／253p  
◇サイズ／文庫判 15.1cm×10.5cm  
◇請求記号／913.6||A 53||1

## 『億男』



川村元気 著

Front



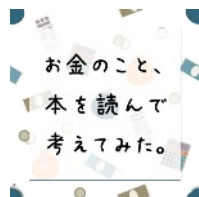
Back



Point

- ・図書館司書の一男が宝くじで3億円を当てたことをきっかけに、お金を巡る冒険が始まります。
- ・登場人物の様々な価値観に触れ、お金とは何か、幸せとは何かを深く考えさせられる一冊です。
- ・映画化作品2018年公開。監督／大友啓史 主演／佐藤健

◇出版社／マガジンハウス  
◇出版年／2014年  
◇ページ数／243p  
◇サイズ／四六判 19.4cm×13.3cm  
◇請求記号／913.6||Ka 95



## 『偉人の年収 How much ? 年収でわかる!?歴史のヒーロー偉業伝』

NHK「偉人の年収How much?」制作班 監修

Front



Back



Point

- ・NHK Eテレで放送中の番組「偉人の年収 How much?」を書籍化した一冊です。
- ・織田信長、平賀源内、野口英世… お金を切り口に偉人の半生をたどります。
- ・遠い存在のように思える偉人ですが、本書でその暮らしぶりに触れることで身近に感じられます。

◇出版社／KADOKAWA  
◇出版年／2024年  
◇ページ数／173p  
◇サイズ／四六判 18.9cm×12.8cm  
◇請求記号／281.04||N 77

## 『江戸の家計簿』

お伊勢参り  
一行の散財は  
250万円以上!?

磯田道史 監修

Front



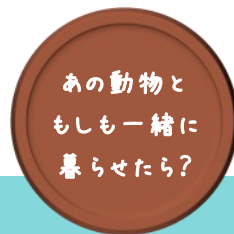
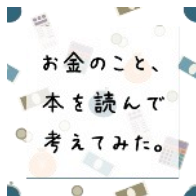
Back



Point

- ・歴史好きの方におすすめ。
- ・武士や町人の生活を物価や収入からひもときます。
- ・フルカラーの図版がたくさん掲載されているので、当時の生活を想像しながら読み進めることができます。

◇出版社／宝島社  
◇出版年／2020年  
◇ページ数／205p  
◇サイズ／新書判 17.3cm×10.7cm  
◇請求記号／210.5||I 85



## 『妄想お金ガイド パンダを飼ったらいくらかかる？』

Front



北澤功 著

Back



Point

- ・ジャイアントパンダ、キリン、ライオン、イルカ、シャチ…実際には飼えないあこがれの動物を、もし飼って見たらというユニークな視点の一冊です。
- ・飼育に必要なお金を通して、動物の飼育方法や生態についても知ることができます。

◇出版社／日経ナショナル  
ジオグラフィック  
◇出版年／2023年  
◇ページ数／189p  
◇サイズ／四六判 18.8cm×13cm  
◇請求記号／480.76||Ki 75

## 『漫画 お金の大冒険 黄金のライオンと5つの力』



両@リベ大学長 著

Front



Back



Point

- ・異世界に飛ばされた少年ソータが水の国の少女メグ、お金の妖精リョーちゃんと共に数々の試練を乗り越え、お金にまつわる五つの力を身に付けていきます。
- ・お金に関する知識を漫画で楽しく学ぶことができます。

◇出版社／ダイヤモンド社  
◇出版年／2025年  
◇ページ数／538p  
◇サイズ／A5判 21cm×14.8cm  
◇請求記号／591||R 96



# Book design

## の世界

vol.46

三森 健太さん

(JUNGLE)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第46回目は、三森健太さんです。

今回ご紹介する三森健太さんは、studioDESGOTH、tobufune（「Book designの世界」vol.16 掲載）などを経て、2018年より屋号「JUNGLE」として活動を開始されました。



### 最初にご紹介する『1分で話せ2 超実践編』

(伊藤羊一著／SBクリエイティブ／2021年／336.49||I 89||2) は、考えを整理して伝えるための実践的な方法を事例に沿って紹介する一冊です。前作『1分で話せ』

(伊藤羊一著／SBクリエイティブ／2018年／336.49||I 89) に引き続き三森さんが装丁を手掛けた本作。

前作のシンプルなデザインを引き継ぎつ

つ、タイトル文字には前作より明るい赤色を使用しています。イラストを添えることで親しみやすさが増し、より身近に感じられるデザインになっています。



### 『世にもふしぎな法律図鑑』

(中村真著／日経BP, 日本経済新聞出版／2025年／320.4||N 37) は、現役弁護士が日常に潜む「ふしぎな法律」を解説する一冊です。重厚感のある濃い灰色の表紙ですが、異なるフォントの組み合わせや幅広の帯がアクセントを添え、軽やかな印象の装丁になっています。



### 『TOKYOストラディヴァリウス1800日戦記』

(中澤創太著／日経BP／2020年／763.42||N 46) は、幻のヴァイオリン「ストラディバリウス」を集めた展覧会を実現するまでの奮闘記です。世界各地のストラディバリウスが並ぶ展示会場の写真に配された白い文字と下部の白地によって、崇高な美しさと緊張感が一層際立っています。

### 『13歳からのアート思考』

(末永幸歩著／ダイヤモンド社／2020年／704||Su 18) は、作品を鑑賞しながら自分だけの答えを見つけ出す「アート思考」を分かりやすく教える一冊です。黄色の表紙を開くと、見返しや標題紙も黄色で統一されています。カバーには、白い線で描かれた建物に「Art」という文字が配されており、アートの入り口へと導くような装丁になっています。



### 最後の一冊『面白いって何なんすか!?問題』

(井村光明著／ダイヤモンド社／2020年／674||I 49) は、CMプランナーである著者がアイデアの秘密を伝えるエッセイ風のビジネス書です。タイトル文字は複数のフォントが巧みに組み合わせられており、強いインパクトと魅力が一目で伝わります。頭を抱えた人物のイラストからは切実な焦りがにじみ出ており、思わず手に取りたくなるデザインです。



三森健太さんの装丁は、本の顔として第一印象を彩り、読者との出会いを魅力的に演出しています。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

参考：JUNGLEホームページ <https://jun-gle.com/>

## ちょこちょこ日記 #56 「¥」

「こんな本読んでみて」No.116は、「お金のこと、本を読んで考えてみた。」をテーマに本をご紹介します。このコーナーでは、お金にまつわる疑問を調べてみたいと思います。

日本のお金の単位「円」。円を表すマーク「¥」はどのようにしてできたのでしょうか？その由来について調べてみました。

『¥の歴史学 貨幣に秘められた謎を解く』（三上隆三 著／東洋経済新報社／2001年／337.21||Mi 21）という本を見つけました。



この本によると、「¥」マークは、「Y E N」の頭文字「Y」を基本にしたデザインで、「=」については諸説あり、「民間にあって考案され工夫されて成立したものである」ということでした。

他にも、ポンド「£」マークやドル「\$」マークの歴史、そもそも円がなぜ「E N」ではなく「Y E N」なのか、紙幣類に「¥」マークが使われていない点などが書かれていて、とても興味深かったです。ぜひこの本を手にとって、奥深い「¥」の歴史をたどってみてください。

次号 No.117は、2026年2月発行予定です。

## こんな本読んでみて No.116

2025年12月1日 発行

編集・発行 津市立三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/>